

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 _____

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 (_____)

住所 〒 8 3 7 - 0 9 2 7

福岡県大牟田市中白川町1丁目183

E-mail : t-yoshimitsu@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 156 名 女子 174 名 合計 331 名
児童・生徒の年齢 6歳 ~ 12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (福祉)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

【実践報告】

- 1年生「ぐんぐんのびろ・げんきにそだて」（生活科）
いろいろな植物を育てて、保護者や地域の方に紹介したりして季節とふれあう活動（環境）
- 2年生「レッツゴー！町たんけん」（生活科）
校区探検を通して生き物や草花とふれあい、四季折々の変化について、クイズ等で紹介し合う活動（環境）
- 3年生「地域の方へ感謝の気持ちを伝えよう」（総合的な学習）
日頃、登下校の安全を守るため活動して下さっている「子ども見守り隊」の方への感謝を表現する活動（福祉）
 - ・ 給食試食会へ地域の見守り隊の皆さんを招待する。
 - ・ 歌や演奏で楽しんでもらい、その後、協力して給食の準備をして、会話しながら、一緒に給食を食べる。
 - ・ 地域の一人暮らしのお年寄りに表現発表会へ案内の手紙を書く。
- 4年生「敬老会への参加に向けて」（総合的な学習）
校区のお年寄りの現状（一人暮らし等）を知り、敬老会で楽しんでもらえるような内容を計画・実行する活動（福祉）
 - ・ 校区敬老会への参加を計画して、地域のお年寄りとの交流。
 - ・ 地域の一人暮らしのお年寄りへ、運動会の招待状を書く。
- 5年生「白川の緑を守ろう」（総合的な学習）
「市内で一番広い運動場」をキーワードにして校内にある624本の木を調べ、樹木の果たしている役割やその大切さを校内から地域へ伝え広め、緑の環境を守っていかこうとする考えを深める活動（環境）
※ 詳細は後述
- 6年生「お年寄りとの交流会をしよう」（総合的な学習）
認知症の現状を知り、高齢者の福祉問題を考える活動。
校区内の小規模多機能ホームを訪問し、お年寄りと進んでふれあい、楽しんでもらう活動（福祉）
 - ・ 認知症について学習をし、大牟田市の現状などを調べる。
 - ・ 医療ソーシャルワーカーの方をゲストティーチャーに招き、小規模多機能ホームのお年寄りの様子を聞く。
 - ・ 可能な交流を計画し、グループごとに計画を立てる。
- 5、6年生「お手紙渡し」（総合的な学習）
 - ・ 5、6年生が地域の民生児童委員さんに案内していただき、独居老人のたお宅を訪問する。
 - ・ 3、4年生が書いた運動会と表現発表会の案内状を渡し、交流をする。

【実践報告の詳細】

- ◎ 5年生「白川の緑を守ろう」総合的な学習の時間（環境）
 - 1 学習のきっかけ
国語の学習で「森林のおくりもの」を学習
 - 木や森の大切な役割に気づく
 - ・ 木は空気をきれいにしてくれる。
 - ・ 木は水をきれいにしてくれる。
 - ・ 木は土を養分いっぱいにしてくれる。
 - 白川小学校にも木がたくさんある（大牟田市で一番広い運動場）
 - ・ 学校にある木について調べて、みんなに木の大切さを伝えよう。
 - 2 調べ活動「マイツリー大作戦」
校内にあるすべての木を数え、ナンバリングをして一人あたり2本を担当し、木の名前や特徴を調べる
 - 学校の木について調べる

- ・ 図書館の図鑑を使って
- ・ インターネットを使って→→→ どう調べてよいか？
- 森林インストラクタの方をGTに招いて調べ方を教えていただく。
 - ・ 花
 - ・ 実
 - ・ 葉
 - ・ 枝
 - ・ 樹皮

3 伝える活動

校内にある木を紹介し、全校児童や地域の方に、白川小の木について発信し、自然環境を守っていかうとする行動へつなげる。

- マイツリーガイドブック
 - ・ 担当した木について調べ、1ページのガイドにまとめる
- 白川グリーンマップ
 - ・ 白川小の樹木マップをつくり、どこに何の木があるか知らせる。
- 木のプレート
 - ・ 図工の学習と関連させて、木製のネームプレートを作って木に下げる。
- 木のカレンダー
 - ・ 木の一番美しい季節を見つけ、カレンダーにして配布する。
- ポスター、新聞
 - ・ 学習したことをポスターにして、校内に広げる。
 - ・ 学習したことを新聞にまとめ、地域の子ども見守り隊の皆さんに配布する。

4 学習のまとめとして大牟田市のユネスコスクール子どもサミットで「白川の緑を守ろう」の取り組みを発表する。

以下、発表時の台本の一部を抜粋

♪この木何の木, 気になる木

- ①こんにちは、ぼくたちは白川小学校の5年生です。
 - ②今日は『白川の緑を守ろう』をテーマに、白川小学校の緑いっぱいの自然を紹介します。また、その緑をこれからも守っていくために考えたことについて発表します。
 - ※ ナレーションにしたがってジェスチャーをする。
 - ③ぼくたちの白川小学校は
 - ④大牟田一運動場が広く、緑がいっぱいです。
 - ⑤休み時間は
 - ⑥木のかげでかくれんぼ
木かげで休憩
ぼくたちの生活の中で、木は当たり前存在でした。
 - ⑦そんなとき、国語の学習で『森林はかけがえのない遺産である。』ということ学びました。
 - ⑧「この木の名前は何だろう。」
いろんな疑問が出てきて、木についてもっともっと知りたくなりました。
 - ⑨そこで、わたしたちは、学校にある木について、調べていくことにしました。
 - ⑩さて、ここで『クイズ』です。
 - ⑪わたしたちの白川小学校には、何本くらいの木が生えているでしょう。
はい、〇〇本だと思います。
わたしは、〇〇本くらいと思うなあ。
もっと、多くて〇〇本と思う。
正解は、なんと
約624本です。5年生みんなで数えました。数えてみて改めて白川小にはたくさんの木があるんだとうれしくなりました。
次は、「マイツリー作戦」のグループです。
- ♪この木何の木, 気になる木
- ① ぼくたちは、学校内のたくさんの木の中から自分の木を決めてその木について詳し

く調べていくことにしました。

② それが、『マイツリー作戦』です。

③ わたしたちは、木についてくわしく調べてみたいと思いましたが、方法が分かりませんでした。

そこで、森林アドバイザーの方がたをゲストティーチャーにおまねきし、実、樹皮、葉や花の形、付き方などに目をつけて見分ける方法を教えていただきました。

④いつも何気なく見ていた木も、一本一本ちがう顔があるようだね。

⑤木が友だちの一人になったような気がするよ。

⑥木は水をきれいにしてくれる

⑦木は、空気をきれいにしてくれる

⑧木は、土を養分いっぱいにする

⑨そして、木は、人の心も豊かにしてくれるものだとわかりました。

⑩そんな大切なことを、たくさんの人に伝えたいと思いました。

わたしが担当したマイツリーは、まめつげです。モチノキ科で、5月に花が咲きます。

わたしたちは、一人一人が調べたものをまとめて「マイツリーガイドブック」をつくることにしました。(実物見せながら)

次は、グリーンマップ作りのグループです。

♪この木何の木、気になる木

①わたしたちは、たくさんある木の中から一人2本ずつ選んで調べることにしました。

②そして、その木がどこにあるのか、地図にしてみることにしました。

③これが、”白川グリーンマップ”です。

④学校の地図に、木とその名前を書き込み、どこにどのような木があるのか分かるようにしました。

⑤ぼくが調べたかいづかいぶきという木は、かだんの近くにあります。

⑥わたしが調べたひいらぎは、正門の近くにあります。

※指さしながら

⑦これを他の学年の人たちにも紹介し、全校のみんなが学校の木についてもっと知ってもらえたらうれしいです。

⑧緑のシールは常緑樹、赤のシールは落葉樹を表しています。

⑨このマップから、木が南の方に多いことがわかります。

⑩くぬぎの木の近くに、秋にはドングリがたくさん落ちているので、休み時間には、みんなですべて拾って楽しんでます。

～以下 省略

以上のような取組を通して、「白川の緑を守ろう」を大牟田市内の学校にも発信する機会ができた。

○ 今後の学習予定

- ・ 年間を通じた木の観察と写真とり。それをういたカレンダー作成。
- ・ この取組を、次年度の5年生へ引き継ぎ、学校全体の取り組みへと広げる。
- ・ 校区内に目を向けさせ、樹木について調べたり発信・交流をする。
- ・ 他校の取組などを知り、交流を図る。
- ・ 次世代科学者育成プログラム事業（有明工業専門高等学校実施）の「子ども環境会議2014」でも発表し、荒尾市との交流を図る。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）